

副専攻名 福祉政策学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

地域創造学類福祉マネジメントコース以外の学生が、福祉政策学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。福祉マネジメント論及び福祉マネジメントコースの専門科目から成る計18科目中より20単位以上を修得することによって、現代福祉の制度・政策に関する基礎知識を習得するとともに、公務員や施設職員のほか福祉に取り組む企業やNPOの職員として身につけておくべき政策立案能力とマネジメント能力の形成を目指している。

副専攻の学修成果

- ・福祉制度・政策に関する基礎知識を習得し、社会福祉の理念と現代社会における意義、役割を理解する。
- ・現代の社会福祉の課題を把握し分析する能力を身につける。
- ・現代の社会福祉の課題を分析し解決するための政策立案能力とマネジメント能力を身につける。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
35575	保健医療論	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の保健医療サービスの概要について知識をもつ。 ・保健医療サービスの利用者やその家族の視点から求められる医療と福祉の支援について考え構想する力を身につける。 	2
35574	介護保険制度論	<ul style="list-style-type: none"> ・世界で最も高齢化が進行している我が国において、介護の社会化、認知症等に対する理解を深め、要介護高齢者や家族・地域が抱える課題に関心を持つ。 ・高齢社会への対応として機能している介護保険制度の内容・現状・課題について理解する。 ・自身の生活と社会保障・社会福祉制度・政策との関わりに目を向ける姿勢を身につける。 	2
35572	社会保障論	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済とは異なる社会保障の仕組みとそれが現代社会において果たしている役割について理解する。そのうえで、社会保障をめぐる具体的な問題状況を新聞・雑誌・統計資料・文献等をつかって自ら整理・分析し、社会保障を見る目を養う。 	2
35573	地域福祉論	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の理論と歴史を理解する。 ・地域福祉に関わる組織・団体・専門職の役割について理解する。 ・地域ニーズの把握方法と地域福祉計画について理解する。 	3
35506	高齢者福祉論	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会の内容と高齢者の特質、高齢者保健福祉の制度体系等について、授業およびレポート作成を通して理解を深め、これらに対する自分自身の意見をまとめる。 	2
35950	現代社会と貧困	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度の仕組みと役割について理解する。 ・貧困問題に関する歴史的、国際的展開を踏まえ、公的扶助制度の意義を理解する。 	2
35508	障害者福祉論	<ul style="list-style-type: none"> ・障害にかかわる自分なりの意見や考えを構築し、それを他者に伝えることができるようになる。 	2
35580	現代社会学A I	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の福祉について歴史的経緯と現状に関する知識を学習し、共生の理念と施策の展開について構想する力を身につける。 	2
35581	現代社会学A II	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した知識やデータをふまえてディスカッションやグループワークに取り組み、自分の考えを表明したり他者の意見を受け止めたりしながら議論する姿勢を身につける。 	2

副専攻名 福祉政策学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

地域創造学類福祉マネジメントコース以外の学生が、福祉政策学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。福祉マネジメント論及び福祉マネジメントコースの専門科目から成る計18科目中より20単位以上を修得することによって、現代福祉の制度・政策に関する基礎知識を習得するとともに、公務員や施設職員のほか福祉に取り組む企業やNPOの職員として身につけておくべき政策立案能力とマネジメント能力の形成を目指している。

副専攻の学修成果

- ・福祉制度・政策に関する基礎知識を習得し、社会福祉の理念と現代社会における意義、役割を理解する。
- ・現代の社会福祉の課題を把握し分析する能力を身につける。
- ・現代の社会福祉の課題を分析し解決するための政策立案能力とマネジメント能力を身につける。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
35582	現代社会学B I	・現代社会の福祉について歴史的経緯と現状に関する知識を学習し、共生の理念と施策の展開について構想する力を身につける。	2
35583	現代社会学B II	・学習した知識やデータをふまえてディスカッションやグループワークに取り組み、自分の考えを表明したり他者の意見を受け止めたりしながら議論する姿勢を身につける。	2
35584	現代社会学C I	社会学が蓄積してきたモダニティを分析するための理論を学び、現代社会の構造がいかなるものであり、それが現代に生きる私たちにどのような影響をもたらしているのか、を理解する。	2
35585	現代社会学C II	日本における社会計画の歴史を概観しながら、社会計画のさまざまな対象と方法について理解する。さらに、社会計画の限界や今日の問題についての認識を深める。そして、現代社会における計画の立案・実施・評価という社会計画の実際についての基本的知識を身につける。	2
35586	現代社会学D I	福祉国家の歴史的発展を学ぶことを通じて、福祉国家の理念と基本的な価値について理解を深める。さらに、現代の福祉国家が抱えている諸問題を、構造的に理解する。そのうえで、今後の福祉国家のあるべき姿について、自分なりに考察を展開することをめざす。	2
35587	現代社会学D II	福祉国家の歴史的発展を学ぶことを通じて、福祉国家の理念と基本的な価値について理解を深める。さらに、現代の福祉国家が抱えている諸問題を、構造的に理解する。そのうえで、今後の福祉国家のあるべき姿について、自分なりに考察を展開することをめざす。	2
35588	現代社会学E I	地域コミュニティの実態について、近代から現代にいたる内外の地域社会学理論から学習することをおして、自分自身の身近な問題として考え、地域コミュニティに生きる生活主体としての視点を養うことができる。	2
35589	現代社会学E II		2
35951	社会政策論	・今日の雇用・失業の現状について統計資料を用いて分析する力を身につける。 ・雇用・失業に関する社会政策は歴史的にどのように発展してきたかについて理解する。 ・雇用・失業政策をめぐる今日の対抗について理解するとともに、望ましい雇用・失業政策について自らの見解を持てるようにする。	2

※開講期については年度により異なる場合があるため、履修を希望する年度の授業時間割表で確認すること。

<https://jinsha-gakusei.w3.kanazawa-u.ac.jp/cm/timetable/>